

ぴつと・いん



★昼はコーヒーストップ
夜はビアパブ
生田筋に「ジラフ」オー
ブン

コーヒーが2000円以下で
飲めるお店は貴重である。生
田筋に8月にオープンした
「ジラフ」は、流行の昼は
「カフェ」夕方からは「ビア
パブ」そして深夜にはシッ
クなワンショットバーという三
変化のお店。ビールは泡にこ
だわっているため、ジョッキ
は使わずグラスで出してくる。
そうすると泡がこんもりと盛



入りやすい雰囲気デイクアウトもできる

り上がるのだ。また、好みの
味、アルコール度数を選べる
という「アドリブビール」も
ある。アルコール度数が10度
のロックから1度のライトま
で。お酒の弱い人にとっては、
助かるメニューだ。スタンド
パブ風なのでここでビールを
軽く一杯やって帰宅という
サラリーマンに人気。パーテ
イコースはドリンク・フード
各1500円から。コーヒー
1800円キリン生ビール39
5円。

■ジラフ三宮店
神戸市中央区北長狭通1・9・11
コーストビル1F
☎078・321・0781
営業時間 7時30分～17時 17時
30分～23時30分

★ダニーボーイが帰って
来た

中山手で長年親しまれ、心

地よさ、安らぎを与えてくれ
たパブレストラン「ダニーボ
ーイ」。震災で店が全壊し営
業を休止していたが、七月の



店内はかなりゆったりしている

末、神戸ハーバーサークスの
新しい顔となるべく再開し
た。インターネットパブと聞
いて、コンピュータ一色の
店を想像するかもしれない
が、置かれているのは数台。

「あくまでも皆さんが楽しく
ワイワイやれる店ですが、震
災後大きな働きをしたメデ
イアに日頃から親しんでもら
いたい」と店長の宮浦仁さん。

何もかもが真新しくなった感
があるが、変わらぬ味とBGM
がうれしい。また新しいス
タッフが慣れない仕事を懸命
にこなす姿は微笑ましい。自
慢のメニュー、インテリアを
徐々に整え、スタッフがめざ
す店に近づいている。

独自のブレンド方法を用い
たオリジナルビール、ダニー

ボーイブリュー（650円）。

■ダニーボーイ

神戸市中央区東川崎町1・3・3
神戸ハーバーランドセンタービル
B1F
☎078・362・8061
営業時間 11時～23時 水曜不定休

★ベスパ専門店が神戸に
上陸

ベスパ専門店「スクーターリ
ング」がトア・ウエストに登
場した。ベスパは今年誕生し
て40年。流行にとらわれず、
変わらぬスタイルが世界中の
愛好家の気を引く。

オーナーの佐本淳さん曰く、
「可愛がると愛着が沸き、ま
るでペットのよう」

いつも、丹念に手入れして
いると、エンジンをかけただ
けで体調、気分がすぐにはわ
かぬ。お店は広くはない
が、ベスパの販売から修理は



「気軽にお越し下さい」と佐本淳さん

もちろんパイツ、アクセサリなど幅広い商品が揃っている。

居留地、異人館、坂道のまち神戸には、時代に媚びないこの「頑固者」がよく似合う。

■スクーターンク

神戸市中央区北長狭通3・4・3
078・391・9112
営業時間 11時〜20時 無休

★「リップル」リニューアルオープン

叫ばないと話が出来ない大音響BGM、おしゃれだが座り心地は？ハテナのインテリア。若者に媚びた見ため重視のお店が多いなか、大人も気持ちよく過ごせる本格派オープン・カフェがお目見え。「カフェレストラン・リップル」は、震災後やむなく同ビル2階で仮営業していたが、



お客さま自体もディスプレイ、おしゃれな人が集う

この8月めでたく元の1階位置にリニューアルオープンした。トア・ロードに似合うものを追及したらこうなった！

とは、神戸に生まれ育って34年の周オーナー。モーニングランチャー・ティータイム・デイナーと、ついつい長居してしまう快適カフェとして年齢を問わずファンが急増中。日変わりランチはデミ・コーヒーツき800円、夜は各種ワインやアルコールと仏料理のメニューも豊富。

■リップル

トア・ロード沿い神戸マリンビル1階
078・331・2345
営業時間 平日9時〜24時
土曜11時〜24時 日・祝11時〜23時

★神戸地ビール誕生！ チャルダ神戸店がオープン

地ビールを味わえる店、チャルダが7月16日に神戸メリケンパークにオープンした。チャルダとはハンガリー語で「楽しく飲んだり唄ったりする居酒屋」のこと。物珍しさも手伝って、うまいビールを飲もうと連日カップルやサラリーマン諸氏でにぎわっている。店内で作られる醸造具合、熟成具合で「本日飲めるビール」が各種ある。ホップの香

りが強いビルスナー、フルーティなウィート、褐色でコクのあるブラウンエールなどチャルダでしか味わえないビール



壁面のイラストも楽しいチャルダの店内



078・333・8677
営業時間 11時30分〜22時30分
(年中無休)

★トアロードにかえって
きた「ハイウェイ」

震災後、元町で営業していたレストラン「ハイウェイ」が8月8日、トアロードに帰ってきた。谷崎潤一郎命名のレストランとしても有名で、多くの文化人のファンを持つ。昭和7年(1932年)創業から守り続けてきた味は、今では貴重な存在。ランチならビーフカレーやクリムコロッケが1000円、スペシャルサービスランチステイキは1500円とお得。カジュアルコースなら3500円でハイウェイの伝統の味が楽しめる。

■ハイウェイ

神戸市中央区下山手通2・13・7
東島ビル1F
078・331・7622
営業時間 11時〜15時・17時〜21時 第3火休



独特の風格を漂わせる店内
トアロードで最古のビルにあったドア

ポケット ジャーナル



★今年も「ルミナリエ」開催

昨年の12月初めて居留地にお目見えて話題をさらった「ルミナリエ」が今年も帰ってくる。11日間でのべ254万3千人もの見物客が訪れ、地元経済界にも予想を上回る波及効果をもたらしたと言われるが、産業界や市民からの熱いラブコールのもとに開催が決定した。

「ルミナリエ」はヨーロッパのパロック時代に祭礼・装飾芸術のひとつとして誕生した光の魅力を駆使した建築物



昨年はスケールの大きさに神戸っ子を驚かせた

がその起源とされている。昨年12月には「夢と光」をテーマにイタリアの建築家によってデザインされ、25日間をかけて約15万個の電球を使用。総延長790メートルの大規模なルミナリエとなった。

●平成8年12月12日～25日 点灯時間 午後6時～11時 会場 旧居留地界隈および東遊園地

★ハーバーランドにジャズの響き

第2回神戸フェニックスジャズフェスティバル

昨年に引き続き、第2回神戸フェニックスジャズフェスティバルが8月4日、神戸国際会館ハーバーランドプラザで開催された。アメリカのパークリー音楽大学の卒業生でスタープレイヤーとなったタイガー大越さん、小曾根真さんも参加。また同大学の教授陣ラリー・モンロー、ジム・ケリー、ボブ・タマグニー各氏

や学生選抜グループも出演。カシオペアの軽快なリズムに、大阪からきた追っかけ紳士も楽しそうにスイング。小曾根真（ピアノ）とゲイリー・バートン（ビブラフォン）のデュオに気持ちを洗われ、タイガー大越の宇宙を感じさせるトランペットに酔いしれ、また東原力哉の豪快なドラムとのバトルに会場が沸き立った。



大震災の鎮魂曲を吹くタイガー大越氏

★さらにギャラリー・西宮の子どもたちの展覧会開催

街中でできてしまった空き地の使い道はさまざま。駐車場になつていたりともあれば全く違う建物に生まれ変わることも。そんな中で、ギャラリーとして生まれ変わるのは、夙川駅の近くで全壊した家のあと地。そのオーブニングとして、被災地から元気に立ちあがろうとしている希望に満ちた顔を、西宮の小学生300人に描いてもらい、展

★誕生日ありがとう運動 私が出会った文字たち（39）



―転園していった人たち

K子さんは、昭和五十年開園當時からの古顔です。二十年もの長い間本当に「苦勞様と、言つてあげたいです。K子さんは、母親と二人暮らしでしたが、頼りにしていた母親も高齢のため亡くなり、その後、甥夫婦に引きとられ、若しお母さんとお父さんができまして。しばらくは物珍しさもあり、大喜びで、毎日のように、お母さんやお父さんの話、昨日は「何を食べた」とか、得意になって話していました。でも五十も過ぎ、少しづつ若い人との考えのずれ、彼女のひがみ、また心臓が丈夫でない健康上の問題などK子さんの将来の事を考えて、やむを得ず入所施設に転園することになりました。その後、園を訪れた彼女は髪を短くカットして見違えるように若くなり、前よりもハツツツ輝いて見えました。「今の仲間と楽しくやっているんだね」それが感じられ、本当に嬉しい。あと二年したら、あなたも還暦。145センチしかない、小つやな体。無理しないで、うーんと長生きしてね。（N）

誕生日ありがとう運動本部
〒650神戸市中央区福通四二二二
南水模型ビル3階（湊川神社西）
TEL FAX 078・360・1257



生命力あふれる絵がならぶ

覧会が開かれる。

●会期 9月16日・10月20日

阪急「夙川駅」下車南東へ5分

オープンニングは9月16日(月)午後2時より

●お問い合わせ

ギャラリ「小さい芽」西宮市千歳町6・20 ☎0798・33・3345

★栄光教会会堂再建のためのチャリティリサイタル

震災で全壊した神戸栄光教会の会堂の再建チャリティコンサートが行われる。栄光教会では5月に会堂再建委員会を結成。教会の精神を再建する「理念部」建物を再建する「建築部」「募金部」とに分か



ドイツより一時帰国してコンサートをを行う
釜岡祐子さん

れ教会員が中心になって活動をする。その一環であるチャリティコンサートの運営は「コンサート部」によるもの。7月30日に行われた第1回目に引き続き2回目は神戸出身のオペラ歌手釜岡祐子さんのコンサート。今後、コンサートは継続して行われる予定。

●釜岡祐子チャリティリサイタル
日時 10月26日(土) 2・30開場
3・00開演 場所・神戸朝日ホール
入場料 3500円

●お問い合わせ 神戸栄光教会会堂再建委員会 ☎078・33・2286

★AMKOBEBEが須磨からハーバーランドへ移転。浅野ゆう子さんが一日放送局長に

開局以来「海の見える放送局」として親しまれてきたAMKOBEBE(ラジオ関西)が、8月8日8時8分、新社屋から放送を開始した。同社は阪神大震災で社屋が全壊の被害を受け仮社屋で放送を続けていた。この日は神戸出身で現在兵庫県の観光大使を務める女優の浅野ゆう子さんが一日局長に。また関西出身の歌手大江千里さんが応援歌を持って駆けつけるなど多彩なゲスト。



1日局長をつとめた浅野ゆう子さん

新社屋はハーバーランド・神戸情報文化ビル7階に。番組内容、パーソナリティも一新される。

★小学生が進水式と造船所見学「三菱しんせんサマースクール」



コンテナ船「エバーユニゾン」が進水

8月10日、三菱重工神戸造船所で、コンテナ船「エバーユニゾン」の進水式と造船所の見学を組み合わせた小学生向けイベント「三菱しんせんサマースクール」がおこなわれた。

「エバーユニゾン」はパナマ運河を通行できる船よりも

■神戸の本棚

★勝つための組織力
S・バクスター著



講談社1800円

日本人選手育成、勝てる組織づくりはこの人なしに語れない。就任二年目にしてサンフレッチェ広島島をJリーグスチーディジャンクションに導いた、スチューワート・バクスター監督(現・ヴィッセル神戸監督)が、日本サッカーの将来のために書き下ろした一冊。

●プレゼント

「勝つための組織力」を3名様にプレゼント。官製はがきに住所、氏名、電話番号を記入して、「月刊神戸」子本プレゼント係」まで。

★「いのちの結んで」

三条社夫



神戸新聞総合出版センター刊
1500円

緊急時には、個人も団体もその本質を問われる。震災時、各メディアは自ら被災しながらも、報道を続けた。その中でも須磨区にあり社屋を破壊されながら生き残ったスタジオを拠点にAM神戸は情報発信した。そのスタッフ一人一人の克明なレポートである。朝の番組放送中に地震にあったパーソナリティや、生きていたのに死亡記事に名前が出てしまった内定学生・神戸新聞と並ぶ「被災メディア」であるAM神戸の放送局としての本質が描かれている。



熱心に見入る小学生

大きな型。神戸シークイーンから命名者に花束がおくられ、大海原に進水すると、小学生らから歓声があがった。毎年恒例のサマースクールには、定員の8倍もの応募者の中から選ばれた小学生とその父兄150名が参

加。組み立て工場や和田岬砲台跡などを興味深く見入っていた。

★失われた緞帳を花束で日本橋三越でチャリティイベント

震災で水浸しになった神戸市立博物館小ホールの緞帳を寄付しようとして、9月14日から3日間、華アカデミーが中心になりチャリティイベントが行われた。日

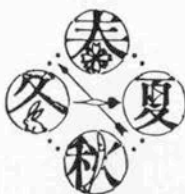


谷村晃甫さん

本橋三越で行われたこのイベントには未生流玉光家元の谷村晃甫による生け花の常設展示、フルート奏者神崎愛とフラワールアレンジメントのジョイントなどのプログラム。花束を買い求め募金箱に納金することによって、個人でも法人でも協賛できるシステムとなっている。寄せられた募金はまず緞帳に、残金があればその他の備品に充当されるとのこと。

●お問い合わせ先 華アカデミー 学院後援会 東京都渋谷区神宮前6・31・21コープオリンピア アネックス504 華アカデミー学院内 ☎FAX 03・3486・4711

花時計



橋幸夫さんらの善意、被災地の子供たちの成長の糧に

歌手の橋幸夫さんが代表する、タレント有志の集い「絆の会」は阪神大震災直後からチャリティ活動を続けているが、去る八月二十一日、被災地神戸の福祉施設

「少年の町」を訪れ「いろいろな事情で親と離れて共同生活をしている子供たちに、奨学金に使って下さい」と、二百万円を同施設施設長谷口剛義さんの手渡した。

「絆の会」からは代表の橋幸夫さん、今陽子さん、三田明さんの三人が十二人のメンバーを代表して出席した。「神戸少年の町」は幼稚園児から十八歳までの子供たち六十人が暮らしている。橋さんは「私たちは、皆さんを見守っていますので元気に明るく育って下さい」を子供たちに暖かい励ましの言葉を贈った。贈呈

式のあと「絆の会」メンバーが作詞したテーマソング「LOVE&HEART」を子供たちが合唱した。そして、しめくくりは橋幸夫のヒットナンパー「いつでも夢を」を、参加した地元ボラン

ティア、行政、自治会の人たち、子供たちも一緒にあって、大合唱をして「あたたかい福祉の心がひとつに融け合って、素晴らしい感動的なシーンをくりひろげた。谷口さんは「頂いたお金は子供たちが学ぶための費用に充てます」と感謝を表していた。

(Y)

KOBE POST

★神戸新聞松方ホール（神戸情報文化ビル4F）のオーブニング記念に「ブラハ国大歌劇場管弦楽団」の公演を、9月18日午後6時〜7時に開催。神戸新聞松方ホールは「神戸の音楽文化の創造」を理念に音響効果を最重要視した設計で残響可変装置をはじめ最新技術を駆使し、音楽はもとよりシンポジウムなどにも利用できる7006席の多目的ホール。神戸市中央区東川崎町1・5・7

★中央公論の女流文学賞を、賛合高校出身の岩橋正美さん（35才）が受賞。（96年度）震災をテーマに描いた「空をなくした日」が8月に中央公論より出版されました。

★エッセイスト岡部伊都子さんの全集5（いのちの根源を問う）が岩波書店から発売。3000円

★青建設計（林彦彦さん）が北野町にオフィスとギャラリーを併設して移転されました。〒6500神戸市中央区山本通2・13・6（新華マンション1F） ☎078・231・8914

★毎日放送の宮田達夫さんが、ラジオ営業局の主幹に。〒530・0404大阪府北区茶屋町17・1

★アロッドのタカタ宝石（代表取締役高田利彦氏）が、7月27日より神戸異人館通りのタカタ宝石ビルに本店を移転。「マノアールガオ店」として8月27日にオープン。

〒650中央区山本通り2・8・14神戸異人館通 ☎078・222・1555アロッド店は「フォルトウナG」と改名してデビューしました。

★岡添真珠の岡添真珠会長が8月11日に亡くなられ、東滝楽寺で30日に社葬がとり行われました。

★デザイナーの丹野最世子さんの母上丹野君子さんが7月6日に他界されました。心よりご冥福をお祈りいたします。

神戸っ子特選く秋のコンサート・催し情報く

★16回かんしんWindyコンサート

「三木麻差子リサイタル」

9月27日(金)

かんしんホール(関西西宮信用金庫本店8階)

午後7時開演

入場料2000円(当日2500円)

地元の新進気鋭および中堅の芸術家に発表の場を提供し、地域に密着した芸術活動を応援する、かんしんWindyコンサートは、「にっぽんの歌 With You Part 2」と題し、ソプラノ歌手・三木麻差子のリサイタルを開催する。ゲストピアノに村上敦子、伴奏ピアノに岡元優子を迎える。プログラムは「こどものための8つうた」、歌劇「夕鶴」より他。

■問い合わせは、かんしんウインディコンサート事務局(☎078・333・3894)。



三木麻差子さん

★第三回 舞の会―地唄舞神崎流龍朋会

9月28日(土)

新神戸オリエンタル劇場

午後4時開演

入場料5000円(全席自由)

演目は、▼地唄「石橋」神崎りう▼地唄「影法師」神崎雅▼地唄「ゆき」神崎はる▼荻江節「現在道成寺」神崎りう。
■問い合わせは、龍朋会(☎078・411・4528)。



★オータム・ダンス・パーティー
いっしゅ星月夜にワインとオペラとダンスを!

10月5日(土)

新神戸オリエンタルホテル・真珠の間(10階)

午後5時半受付、6時開演

入場料会員25000円、一般3000円(要予約)

ソプラノ歌手の浅井順子(関西二期会)と演奏の日下雄介とモダンタイムスによる美しい調べと、司会の玉井孝

の楽しいおしゃべりで、秋の夜長を優雅に過ごしてはいかが? 服装はフォーマル着用のこと。

■問い合わせ・申し込みは、主催の神戸ネオトロピカル協会(☎078・242・5690 Fax 078・222・5875)まで。

★素舌洞でっさん50周年記念
「同窓会のようなもの」を開催
10月5日(土)

ホテルオークラ神戸

午後7時開演

会費18000円

震災後、昨年6月から再開している「でっさん・すくーる」が、この夏50周年を迎えたのを記念し、校長の外山良平さんこと李良平さんと教頭の外山トキ子さんを囲んで、「同窓会のようなもの」を開催す。

外山雄三さんの作曲・演奏による50周年を祝う曲の発表や、ト部俊子さんのピアノ演奏など盛り沢山な企画で、「でっさんの50年」を語り合い、校長・教頭の50年にわたる労をねぎらおうというもの。

■問い合わせは、素舌洞でっさん50周年記念「同窓会のようなもの」の事務局(☎078・271・8062)。

神戸の文化財はいま 〈その一〇〉

風が街を形づくった

井上和彦

〈神戸新聞記者〉

撮影／米田英男



中山手にある神戸海洋気象台は、海洋気象台としては日本最古のもの。測風塔は震災で被害を受けて、取り壊された

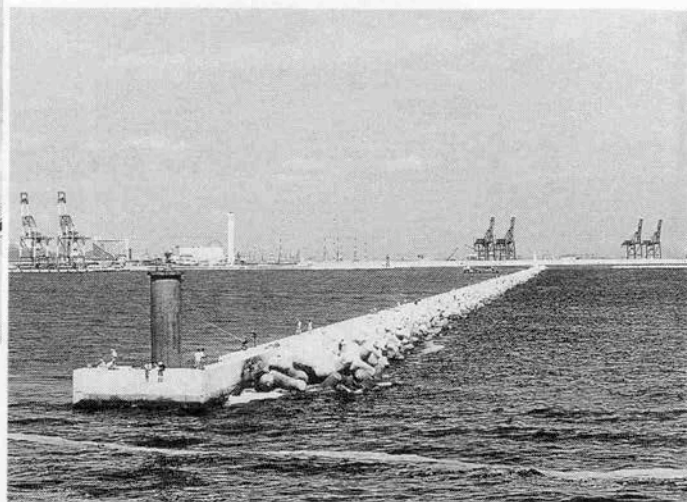
風を文化財とするにはかなりの無理があろう。だが、神戸を吹き抜ける風に一定の規則性や他都市にみられない特徴があつて、人々の生活にも影響を与えているとすれば、自然現象も広義の文化財といえなくもない。

八月十四日、台風12号は兵庫県北部を西から東へかすめ、神戸は最大瞬間風速三二・一m/sの強い南寄りの風に見舞われた。たまたま神戸市中央区のハーバーランドに完成して間もない十八階建て「神戸情報文化ビル」の十三階に居たのだが、風圧でビルがぐらつき、兵庫県南部地震（阪神大震災）の余震ではないかと驚くほどだった。ビル自体、建設中に震災にあい、それをくぐりぬけており、当然ながら耐震設計となっていない。もちろん風圧にも耐えうる構造であることは疑いない。神戸を代表する文化としての、このビル建築にも風を含む自然の営みはきっちり組み込まれているわけだ。

いったい神戸に吹く風はどんな特徴を持つのだろうか。中央区中山手通七、神戸海洋気象台内にある日本気象協会神戸支部を訪ねた。ここには風に関する記録がきちんと整理されている。気象予報士でもある支部長の佐藤英雄さんは即座に「風に東、西、南、北の四パターンがあります。それぞれに特徴がありますが、いずれも六甲山が屏風や衝立の役割を果たして神戸の風に一定の規則性を持たせているといえましょうか」



帆船は風なくしては走れない



和田岬沖の第1防波堤。南風「まぜ」から神戸を守る

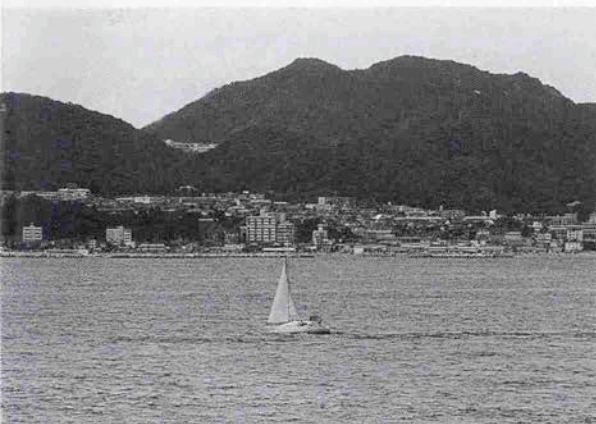
という。

佐藤さんの話に沿って、まずは東風から説明してみよう。正確には東寄りの風だが、神戸はこの風が吹く時、市街地あたりは非常に強くなるくせを持つ。気圧配置としては三陸や北海道沖に高気圧があって、東シナ海から南西諸島にかけて発達中の低気圧が東進している春や秋に多い。この時、伊勢湾付近に吹き付けた強い南東の風は、陸地の低い所を選んで通り抜けてゆく。関が原―琵琶湖―淀川沿いのラインだ。そして大阪湾へ広がりながら吹き抜けようとするのだが、六甲山が一種の壁となつて神戸の市街地では風が収束、非常に強くなるというものだ。同気象台の観測船「春風丸」による一九九六年五月の調査では、海洋気象台を一つの強さで吹いた東風は、神戸港で一・一、大阪湾央では〇・六に弱まっている。

次は西寄りの風。この風も典型的な六甲山の影響がみられる。西高東低の冬型気圧配置の時に多い。気象協会神戸支部で観測した八七年一月一三日の西風の強さの記録は、垂水一・六、マボートアイランド一〇・六、マ六甲アイランド九・〇、マ気象台六・九、マ大阪港八・九、マ関西新空港一四・七、となつている。東北東から西南西の方向になだらかに横たわる六甲山系が、屏風のように西風を遮り、神戸の市街地では強い西の吹き出しも弱められる。強弱の境は和田岬あたりだとされる。これが古来から「西風に強い港」として発展してきた兵庫津の存在理由である。風は文化、のひとつの証明にもなるうか。

◆
神戸に吹き付ける南風は「まぜ」とも呼ばれ、恐れられている。ほとんどの台風通過に伴うものだからだ。

「気象暦」をひもとくと、神戸の日最大瞬間風速の一位は一九六五年九月一〇日の台風23号通過時に出た四八・五、二位は五〇年九月三日のジェーン台風で四七・六、三位は六三年九月二五日の台風20号の四一・三、といずれも台風がらみ。風向は、二位のジ



風を受けて走るヨット。神戸は山と海、そして風の恩恵を受けている



須磨ヨットハーバー

エーン台風が北東となっているが、他は南南東・南南西で、風を遮る六甲山といえども、紀伊水道から吹き上げてくる、暖かく湿って重い南風の直撃にはお手上げといえる。神戸港の防波堤がほぼ東西に長く、しかも水面から高いのはこの強烈な南風による影響を十分に計算したうえのことだろう。

最後は北風。強い北寄りの風は、神戸つ子から親しみと畏敬の念を込めて、「六甲おろし」と呼ばれる。神出鬼没の不思議な風。というのも、気象台で観測網に引っかけ、秒速一五以上を記録したとしても、同じ時刻に灘区内でも同じ強さの風が吹くかといえ、そうはならない。局地的な突風を伴う。気象台の観測では、夕方から夜十時ぐらいの間に強さのピークがでる。季節は一月から三月と八月から十一月に多い。気圧配置としては、低気圧が南岸を東へ移動し関東沖に遠去しようとする一方で、大陸の高気圧が日本列島に張り出し始める時に起きやすいとされる。この時、六甲山地の北側には冷たい空気が押し寄せてくるが、日差しの強い日中は海風が発達するため、北風の吹き下ろしは弱められる。夕方から夜になると、その束縛から解放されるから、冷たい気団は突風となつて六甲山の谷間に沿ってどつと流れた。これが六甲おろしの正体だ。

六甲おろしには苦い思い出がある。かつて大阪湾は巨大な火山性のカルデラではないか、との突飛な考えを持ったことがある。地図を広げて六甲山系から大阪の生駒、金剛山地、さらに紀淡海峡に浮かぶ小島を経て、淡路島の山系をぐるり見回せば、これらの山々は外輪山に見えないだろうか。神戸大理学部地球(惑星)科学教室でこの仮説を冗談混じりに話したところ、「証明しましょう。協力しますよ」と専門家から快諾を得、実験観測隊を編成することになった。

一九八三年六月だった。伊勢崎修弘助教授(当時)、井口博夫助手(同)に院生一人とヨット仲間を加えて



JR神戸駅北側にある風のモニュメント
新宮晋「海からのたより」



震災時、神戸に吹いた風はやさしかった。
ポートタワーから六甲山をのぞむ

総勢五人、小型クルーザーに地磁気測定装置を積み込んで、好天の朝早く須磨港を出航、大阪湾内をぐるりと観測航海した。プラスチック製ヨットは鉄鋼船と違って、磁気観測に好都合だし、当時、大阪湾は地磁気データの空白域だったこともある。もし火山が隠れているとしたら地磁気に鮮やかな異常が現れる。期待を込めた航海だった。

とつぶり暮れたころようやく、ヨットは神戸沖にたどり着いた。心地よい陸風を横から受けて須磨に向けて快走中だったが、突然、六甲おろしに叩かれたのである。艇は横倒しになり、キャビン内で観測機器ごとほぼ全員放り出されてしまった。幸いけがや被害はなかったが、つまらない興味から他人に恐ろしい思いをさせたことを悔やむことになった。しかも、航海の約一か月後にでた観測結果は「地磁気に何ら異常なし」。仮説の推測だけが証明されるという恥ずかしい思いも味わったのである。

もっと悪いことには、地磁気の異常がみられないことから、大阪湾とそれを取り巻く山々は安定している、と勝手な素人解釈をしてしまったことだ。苦い思い出の航海から十二年後、まさかの地震が起きた。震源は淡路島で、神戸市内や大阪湾内でも大地に亀裂が走ったとはわかに信じられなかった。

その震災時、神戸に吹いた風はやさしかった。天の恵みというか、六甲おろしは吹かなかった。一月十七日といえば、北西風が吹き募ってもおかしくない時期だ。それなのに、神戸海洋気象台に残る当日の風の記録は午前六時の観測で北西の風四・六メートルというのが最大、まず無風といいいい。地震直後に市内各地で発生した火災が、もし六甲おろしに叩かれていたら……。

神戸に吹く風を既観すると、風を含め自然はいつも気ままに人々に味方したり敵対したりしたかがわかってくる。これから先、震災復興文化の華を開かそうとするとき、神戸に心地よい薫風が吹き続けることを願ってやまない。

☆

サキの結婚式の日から二か月が過ぎた。だけどサキは長い新婚旅行から帰ってこなかった。

たまらなくなつてジンはレイコにたずねた。レイコは悲しそうな顔をした。「まだ、サキのこと考えてるの？彼女ならイタリアに永住するのよ。向こうで陶器の勉強をするんだって」

「ほんとに？」

「そう。前からやりたいつて言つてたでしょ。あなたにもよろしくつて書いてあつたわよ。素晴らしい脚本業しみにしてるつて」

「嘘だろ」

「何が？」

「イタリア」

「私が勧めたの」

「どうして、そんなこと勧めたんだよ」

ジンはレイコのカーディガンの襟元をつかんだ。

「だって、このままだとあなただつて駄目になつちゃうもの」

「ほつといて欲しいんだよ。うるさいんだよ」 ジンは怒りに燃えた目でレイコを睨みつけた。

その目を見返してレイコは言った。「私のこと憎んでるの？…サキにあの人と結婚するように勧めたのも私よ。この私よ」

涙声でレイコが言った。ジンはレイコの襟元から手を離すとテーブルに腰掛けた。

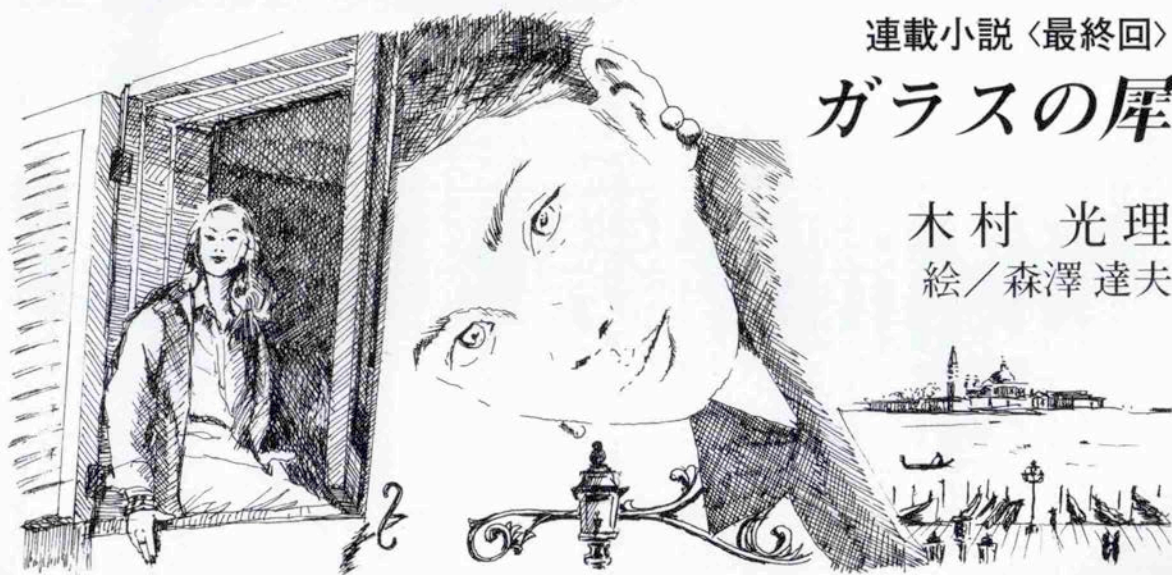
「だって、サキはすごく気にしてたのよ。あなたが普通の暮らしに入っていくのがつらいつて。私に良い服を着せるために、りっぱなセールスマンになろうつて無理してるつて。サキはセールスマンのあなたに惚れたんじゃないのよ。りっぱなセールスマンになることなんて望んでいなかったのよ」

「どうにもならないよ。好きなことをやって生きていけ」

連載小説〈最終回〉

ガラスの犀

木村 光理
絵／森澤 達夫



るほど、世の中甘くはないさ。金がいるのさ。精神だけじゃ暮らしていけない。あんたみたいな、お嬢さんにはわからないだろうけれど」

「お金の問題じゃないのに」

「あんたが貧乏になつてから聞くことにするよ」

レイコはジンにちかづくと、頬を激しく打った。

「意気地なし！」とレイコは叫んだ。「サキは今でもあなたのことを愛してるかもしれない。でも、自惚れないでね。それはあなたのすべてじゃないのよ。ほんの一部分。それももうあなたが失ってしまったもの……あなたの……なのに私ときたら」

レイコは涙声で言った。その言葉を聞きながらジンはレイコのことを心底いい人だと思った。この人を愛せたいとも思った。でも、愛情というものは湧いてこなかった。彼女が自分と一緒に暮らすことを望んでいることは痛いほどわかった。だけど、どうにもならない問題だった。

その日から、レイコはやつて来なくなった。これまでなら、ジンが来るな！と怒鳴りつけても、一週間に一度は必ずやつて来たのに。

タケシとも音信不通。電話をしても、居留守を使つてるらしく出ようとしなない。しかたがないのだろう。普通の暮らしを続けることが、友人として最低の条件なのだろう。

テレビも見ない。ラジオも聴かない。新聞も見ない。

朝から一人の人間にも会わず、一言も言葉を発しない。部屋に閉じこもり、そんな暮らしを続けていると、自分が徐々に化石じみていくのをジンは感じた。

食物を少ししかとらないせいとか、胃が縮んでいるらしい。そのせいで痛みがある。胃だけじゃなく、脳みそも縮んでいつてるようだ。このまま徐々に衰弱して……やがて……

窓の外では、カーニバルが告げた本物の春がやってきていた。ほとんど掃除をしないせいで、埃と塵にまみれた部屋の中にも、春の日差しが差し込んでいる。汚いからといって避けてとおつたりしない。

だけど、ジンの頭の中では、季節も、月も、曜日も、何もかもがもう意味をなさなくなっていた。

そんなある日、久し振りにレイコがやつてきた。彼女はドアの向こうに立っているジンを見て、ほとんど悲鳴を上げそうになった。「ひどいじゃない。このままじゃ死んじゃうわよ」

まるでミイラじゃないという言葉を食べ込んでレイコは言った。

「心配しなくていいよ。これでなかなか居心地がいいんだ。気持ち良く暮らしてるよ」

「でも、顔色が悪いわよ。それに、ちよつと痩せすぎよ」

「体調は最高だ」

「嘘ばかり。もつと食べなさい」

「そうかな。でも食べたくないんだ。体もうけつけてくれないし」

レイコは知り合いの医者にもその場で電話をかけた。駆けつけて来た医者はジンを見ると顔をしかめた。

「極度の栄養失調だな。ひどいよこれは。すぐに入院させなさい」と医者は小声でレイコに言った。だが、ジンはこの部屋を出ることを拒んだ。「この部屋を出ていくと、サキが帰ってきた時に迷つてしまふんだ」と繰り返した。ベッドからジンを立たせようとする医者に「出ていけ、このクソ野郎！」と悪態をついた。

「大丈夫だろ、これほど元気なら。すぐにつてことはないさ」

そう言つて医者は山盛りの薬を置いて帰つていった。

その日の夜、レイコはジンのそばを離れなかった。離れる気にはなれなかった。ジンは眠り病患者のようにず

つと眠り続けていた。時々、サキ、サキ、とうわごとを言った。

次ぎの日もその次ぎの日も同じような状態が続いた。レイコはずっとそばにいた。医者には「生きようっていう気力がないんだよ、この患者には。緩慢なる自殺だな、これじゃ。こいつは精神科の領域かもしれない」とレイコに言った。

レイコが「大丈夫?」と問い掛けても、ジンは虚ろなまなざしを向けるだけ。そのくせサキの名を出すと、ジンの目に一瞬輝きが戻った。そして「何か言ってよこしたかい」とジンは確かな声で言った。

「いいえ。……でもそのうちにきつと」

「やさしい人だな、君は。サキが君ほど優しくなければいいのに」

レイコは黙ってほほ笑んだ。

そんなある日「読んでほしい詩があるんだ。いいかな」と、遠くを見るような目をしてジンが言った。

「ええ」とレイコは答えた。

ジンはベッドの下から原稿を取り出してレイコに渡した。

レイコは黄色く変色したそれを、静かに読み始めた。

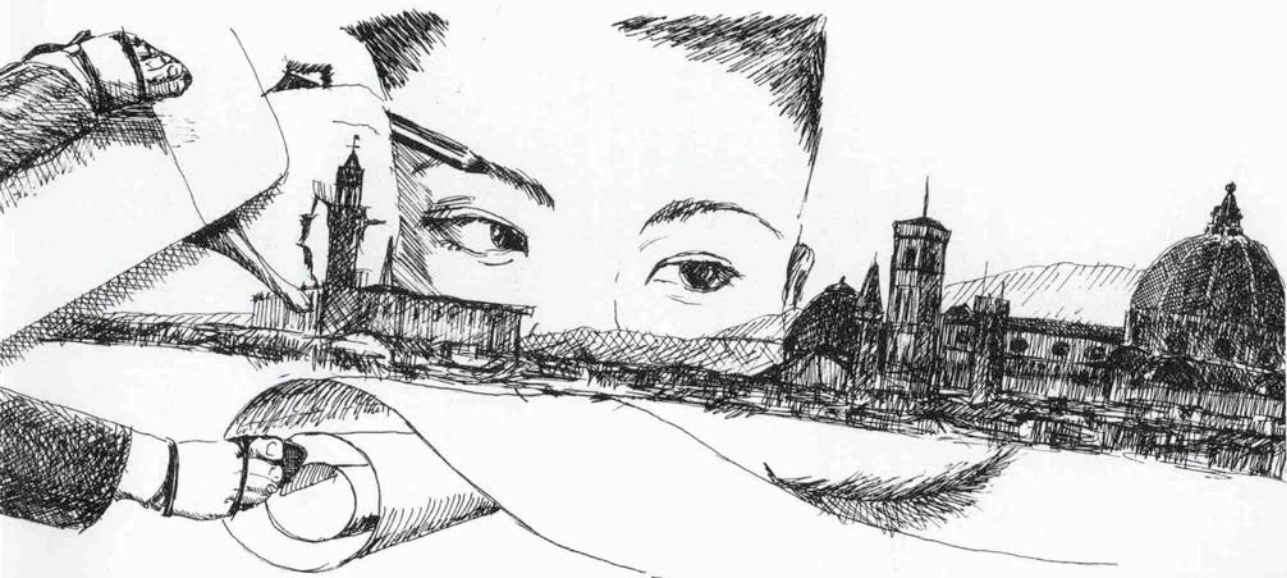
夕暮れ

植物園の檳榔の木の下にいるのは

私だろうか

あなただろうか

そこまでくると「君には感謝している。心から感謝しているよ」とジンは言った。感謝なんかいらぬ。それよりほんのわずかでもいいから愛してくれたら……とレイコは思った。



蒸されるような空気につつまれて、とレイコは続けた。
好きよといえ
やさしい影は消えるかもしれない

身体を寄せる

身体をすり寄せる

疲れている夜も

知らない

無花果の薄い皮を剥いて

柔らかい

桃色の空間を食べる

あなたは犬です

「僕はひょつとすると、サキではなくて、サキのこの詩に惚れたのかもしれない。現実のサキなど幻想に過ぎず、この詩が本物の」

「もう読みたくないわ」

「駄目だ」

「もういや！」とレイコは叫んだ。「どうして私に読ませたりするの。残酷よ、あなたは」

「お願いだから」

痩せこけたジンの顔。その奥の眼がそれだけが別の生き物のようにレイコを見詰めていた。

長い舌の

ザラリとした感触、とジンが続けた。

その時、レイコの目に憎しみがこもった。彼女は椅子から立ち上がった。そして、ジンの枕もとに近付いた。「お願い、静かにして！」

誰にだって人を殺したいと思う時がある。とジンは思った。そして人に殺されたいと思う時も……そう思いながらジンは最後の一節を声にだした。





K.F.S. NEWS 169

神戸ファッション市民大学OBによるグループ
神戸のファッション都市化をめざす

事務局/神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズトアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL.078-331-2246

ファッションシーズンの秋を迎えて7月2日(火)にKFSの総会がホテルゴーフリッツで開催され、新役員が誕生。KFS初の女性会長・石原睦美さんは、おしゃれな「オートクチュール・アトリエ・アン・アケミ」のデザイナー。新体制のもとに新生KFSの活躍が期待されている。

「トレンド、カルチャープラクティス」(実践と研鑽)を。



●新会長ごあいさつ

石原 睦美

1974年神戸ファッション市民大学の第一期卒業生によって発足した神戸ファッションソサエティも23周年目を迎え、衣食住遊のあらゆる生活文化に関連する会員達がそれぞれにファッションリーダーとしての自負と気概をもって活動が続けてきました。当初の「神戸をファッション都市に」という目的は達成され「おしゃれの街神戸」は全国に定着しました。突然の大震災により神戸は大打撃を受け、会員もその例外ではあり

ませんでした。20年余培ってきた文化意識や会員相互の親睦を力に、厳しい現実の中、新しい出発をはじめています。K.F.S.の組織も歴代会長や新旧会員の提言のもとに、4人の副会長と部会性システムをとり、会員全員が何らかの形で会の運営に参画するという方式でスタートしました。この期に7代会長に推挙され、非力の身にあまる重責に身も細る思いではありますが、誠心誠意頑張ります。

「トレンド、カルチャー、プラクティス(実践)」の研鑽のK.F.S.の理念のもと独自性をもった活動をしてゆきたいと思います。何卒皆様のご支援をお願い申し上げます。

■9月マンスリーのご案内

「4部会総会トーク」(仮題)

日時:9月20日(金)PM6:30~

場所:勤労会館307号室

■平成8年度理事

会長	石原 睦美
副会長	中村 妙子(総務部会)
	西條 幹男(広報部会)
	木庭 廣知(事業部会)
	村岡 圭(マンスリー部会)
監査	柿本 雅司
	米田 博司
理事(渉外)	大内 信行
(総務部会)	加納 勝
	松田 良子
広報部会	小泉 美嘉子
	米田 定蔵
	兼古 啓嗣
事業部会	若林 雄三
	斎藤 統子
マンスリー部会	田中 謙司
	藤井 美知子
	山下 みか子

